

## 【相談援助業務の範囲】

「実務経験証明書（兼実務経験見込証明書）」の「施設種類」「職種」「施設・職種コード」欄には下表から該当するものを選び、正確に記入ください。

なお証明書の作成にあたっては、P13～19の厚生労働省通知「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について」の内容を確認ください。

※下表の「施設種類」欄に記載された番号が、厚生労働省通知の項番に対応しています。

児 童 分 野		施設・職種コード	
施設種類	相談援助業務の実務経験として認められる職種		
児 童 福 祉 法	児童相談所 1-(2)	児童福祉司	<b>1361</b>
		受付相談員	<b>1362</b>
		相談員	<b>1363</b>
		電話相談員	<b>1364</b>
		児童心理司、心理判定員	<b>1365</b>
		児童指導員	<b>1366</b>
		保育士	<b>1367</b>
	母子生活支援施設 1-(3)	母子支援員、母子指導員	<b>1371</b>
		少年指導員（少年を指導する職員）	<b>1372</b>
		個別対応職員	<b>1373</b>
	児童養護施設 1-(4)	児童指導員	<b>1381</b>
		保育士	<b>1382</b>
		個別対応職員	<b>1383</b>
		家庭支援専門相談員	<b>1384</b>
		職業指導員	<b>1385</b>
		里親支援専門相談員	<b>1386</b>
	障害児入所施設 児童発達支援センター（障害児通所支援事業） 1-(5)	★児童指導員（※2）	<b>1561</b>
		★保育士（※3）	<b>1562</b>
		心理指導担当職員	<b>1563</b>
		児童発達支援管理責任者	<b>1564</b>
知的障害児施設 〔知的障害児施設 自閉症児施設（第一種、第二種）〕 2-(32)	★児童指導員（※2）	<b>1391</b>	
	★保育士（※3）	<b>1392</b>	
知的障害児通園施設 2-(32)	★児童指導員（※2）	<b>1401</b>	
	★保育士（※3）	<b>1402</b>	
盲ろうあ児施設 〔盲児施設 ろうあ児施設 難聴幼児通園施設〕 2-(32)	★児童指導員（※2）	<b>1411</b>	
	★保育士（※3）	<b>1412</b>	
	★児童指導員（※2）	<b>1421</b>	
肢体不自由児施設 〔肢体不自由児施設 肢体不自由児通園施設 肢体不自由児療護施設〕 2-(32)	★保育士（※3）	<b>1422</b>	

児童分野		施設・職種コード	
施設種類	相談援助業務の実務経験として認められる職種		
児童福祉法  (児童発達支援センターを 除く)	児童心理治療施設 (旧：情緒障害児短期治療施設)  1-(6)	児童指導員	<b>1431</b>
		保育士	<b>1432</b>
		個別対応職員	<b>1433</b>
		家庭支援専門相談員	<b>1434</b>
	重症心身障害児施設  2-(33)	★児童指導員(※2)	<b>1441</b>
		★保育士(※3)	<b>1442</b>
		心理指導員(心理指導を担当する職員)	<b>1443</b>
	児童自立支援施設  1-(7)	児童自立支援専門員	<b>1451</b>
		児童生活支援員	<b>1452</b>
		個別対応職員	<b>1453</b>
		家庭支援専門相談員	<b>1454</b>
		職業指導員	<b>1455</b>
	児童家庭支援センター  1-(8)	相談員 (児童・母子家庭等に対し、福祉に関する相談・助言を行う職員)	<b>1461</b>
	児童発達支援事業を行う施設  1-(9)	★指導員(※1)	<b>1571</b>
		★児童指導員(※2)	<b>1572</b>
		★保育士(※3)	<b>1573</b>
		児童発達支援管理責任者	<b>1574</b>
		★障害福祉サービス経験者(※4)	<b>1575</b>
		機能訓練担当職員(心理指導担当職員に限る)	<b>1576</b>
	医療型児童発達支援事業を行う施設  1-(9)	★児童指導員(※2)	<b>1572</b>
		★保育士(※3)	<b>1573</b>
		児童発達支援管理責任者	<b>1574</b>
		機能訓練担当職員(心理指導担当職員に限る)	<b>1576</b>
	放課後等デイサービス事業を行う施設  1-(9)	★指導員(※1)	<b>1571</b>
		★児童指導員(※2)	<b>1572</b>
		★保育士(※3)	<b>1573</b>
		児童発達支援管理責任者	<b>1574</b>
★障害福祉サービス経験者(※4)		<b>1575</b>	
機能訓練担当職員(心理指導担当職員に限る)		<b>1576</b>	
居宅訪問型児童発達支援事業を行う施設  1-(9)	★訪問支援員(※1) (保育士、児童指導員、心理指導担当職員に限る)	<b>1577</b>	
	児童発達支援管理責任者	<b>1574</b>	
保育所等訪問支援事業を行う施設  1-(9)	★訪問支援員(※1) (保育士、児童指導員、心理指導担当職員に限る)	<b>1577</b>	
	児童発達支援管理責任者	<b>1574</b>	
障害児相談支援事業  1-(10)	相談支援専門員	<b>1581</b>	

児 童 分 野			施設・職種 コード		
施 設 種 類		相談援助業務の実務経験として認められる職種			
児 童 福 祉 法	乳児院  2-(2)	児童指導員	<b>2511</b>		
		保育士	<b>2512</b>		
		個別対応職員	<b>2513</b>		
		家庭支援専門相談員	<b>2514</b>		
		里親支援専門相談員	<b>2515</b>		
	指定発達支援医療機関 〔 肢体不自由児施設支援 重症心身障害児施設支援 国立高度専門医療研究センター及び独立行 政法人国立病院機構が設置する医療機関で あって厚生労働大臣が指定するもの 〕 2-(13)	★児童指導員（※2）	<b>2451</b>		
		★保育士（※3）	<b>2452</b>		
	児童自立生活援助事業を行っている施設	2-(21)	相談援助業務を行っている指導員	<b>2531</b>	
	地域子育て支援拠点事業を行っている施設	2-(24)	相談援助業務を行っている職員	<b>2561</b>	
	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業を行 っている事業所	2-(82)	小児慢性特定疾病児童等自立支援員	<b>5081</b>	
そ の 他	利用者支援事業を行っている施設	2-(25)	相談援助業務を行っている職員	<b>2901</b>	
	児童デイサービス事業（障害児通園事業）	2-(12)	相談援助業務を行っている職員（相談員）	<b>2291</b>	
	支援 地域 生活 事業	障害児等療育支援事業を行っている施設	2-(36)	相談援助業務を行っている職員	<b>2441</b>
	心身障害児総合通園センター	2-(20)	相談援助業務を行っている職員	<b>2521</b>	
	子育て短期支援事業（短期入所生活援助 事業、夜間養護等事業） 〔 乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、 及び保育所等において実施する事業 〕 2-(22)		相談援助業務を行っている職員	<b>2541</b>	
	重症心身障害児（者）通園事業を行っている施設	2-(28)	★児童指導員（※2）	<b>2581</b>	
			★保育士（※3）	<b>2582</b>	
	スクールソーシャルワーカー活用事業に 基づく教育機関	2-(72)	スクールソーシャルワーカー	<b>2741</b>	
	子ども家庭総合支援拠点	2-(75)	相談援助業務を行っている職員	<b>5091</b>	
	子育て世代包括支援センター	2-(76)	相談援助業務を行っている職員	<b>5101</b>	
「医療的ケア児等とその家族への支援」 を行っている事業所	2-(83)	医療的ケア児等コーディネーター	<b>5111</b>		

注意事項

- (※1) 「指導員、訪問支援員」のうち、「介護等の業務を行う指導員、訪問支援員」として介護福祉士国家試験を受験した方は、その実務経験をもって社会福祉士国家試験を受験することはできません。(介護福祉士国家試験のみ受験できます。)
- (※2) 「児童指導員」のうち、「入所者の保護に直接従事する児童指導員」として介護福祉士国家試験を受験した方は、その実務経験をもって社会福祉士国家試験を受験することはできません。(介護福祉士国家試験のみ受験できます。)
- (※3) 「保育士」のうち、「入所者の保護に直接従事する保育士」として介護福祉士国家試験を受験した方は、その実務経験をもって社会福祉士国家試験を受験することはできません。(介護福祉士国家試験のみ受験できます。)
- (※4) 「障害福祉サービス経験者」のうち、「介護等の業務を行う障害福祉サービス経験者」として介護福祉士国家試験を受験した方は、その実務経験をもって社会福祉士国家試験を受験することはできません。(介護福祉士国家試験のみ受験できます。)

なお、「障害福祉サービス経験者」とは、児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準(平成24年厚生労働省令第15号)第66条第1項第1号に定める障害福祉サービス経験者(高等学校の卒業者等であって、2年以上障害福祉サービスに係る業務に従事した者)をいい、「障害福祉サービス」とは、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)第5条第1項に規定する障害福祉サービスをいいます。

★印の職種のうち、介護福祉士養成施設等を卒業した経過措置対象者(期限付き介護福祉士登録者)が、経過措置期間に主たる業務として介護等の業務に5年間従事して経過措置の解除を行おうとする場合には、その実務経験をもって社会福祉士国家試験を受験することはできません。

高 齢 者 分 野			施設・職種 コード
施 設 種 類		相談援助業務の実務経験として認められる職種	
介護 保 険 施 設	指定介護老人福祉施設 〔指定地域密着型 介護老人福祉施設を含む〕 1-(22)	生活相談員	<b>1011</b>
		介護支援専門員（配置基準により配置されている資格保有者に限る）	<b>1012</b>
	介護老人保健施設 1-(22)	支援相談員	<b>1021</b>
		相談指導員	<b>1023</b>
		介護支援専門員（配置基準により配置されている資格保有者に限る）	<b>1022</b>
	介護医療院 1-(22)	介護支援専門員（配置基準により配置されている資格保有者に限る）	<b>1611</b>
指定介護療養型医療施設 1-(22)	介護支援専門員 （配置基準により配置されている資格保有者に限る）	<b>1031</b>	
地域包括支援センター 1-(23)		包括的支援事業に係る業務を行う職員（※5） （保健師、主任介護支援専門員等）	<b>1041</b>
介 護 保 険 法	指定特定施設入居者生活介護を行う施設 〔指定地域密着型特定施設入居者生活介護を行う施設 指定介護予防特定施設入居者生活介護を行う施設 を含む〕 2-(4)	生活相談員	<b>2221</b>
		計画作成担当者	<b>2222</b>
	指定通所介護を行う施設 〔基準該当通所介護を行う施設 指定地域密着型通所介護を行う施設 指定介護予防通所介護を行う施設 基準該当介護予防通所介護を行う施設 第一号通所事業を行う施設（※6） 指定認知症対応型通所介護を行う施設 指定介護予防認知症対応型通所介護を行う施設 を含む〕 2-(41)、2-(45)	生活相談員	<b>2011</b>
		生活指導員	<b>2012</b>
	指定短期入所生活介護を行う施設 〔基準該当短期入所生活介護を行う施設 指定介護予防短期入所生活介護を行う施設 基準該当介護予防短期入所生活介護を行う施設 を含む〕 2-(41)	生活相談員	<b>2051</b>
		生活指導員	<b>2052</b>
	指定通所リハビリテーションを行う施設 （指定介護予防通所リハビリテーションを行う施設を含む） ※介護老人保健施設において実施されているものに限る 2-(42)	支援相談員	<b>2091</b>
	指定短期入所療養介護を行う施設 〔指定介護予防短期入所療養介護を行う施設を含む〕 ※介護老人保健施設において実施されているものに限る 2-(42)	支援相談員	<b>2111</b>
	指定期巡回・随時対応型訪問介護看護を行う施設 2-(43)	オペレーター	<b>2771</b>
	指定夜間対応型訪問介護を行う施設 2-(44)	オペレーションセンター従業者	<b>2781</b>
指定小規模多機能型居宅介護を行う施設 （指定介護予防小規模多機能型居宅介護を行う施設を含む） 2-(46)	介護支援専門員 （配置基準により配置されている資格保有者に限る）	<b>2151</b>	
<b>注意事項</b> (※5) 「包括的支援事業」のうち、一部の事業は、その実務経験をもって社会福祉士国家試験を受験することはできません。通知の内容を必ず確認してください。 (※6) 「第一号通所事業」のうち、事業者指定を受けていないもの等は、その実務経験をもって社会福祉士国家試験を受験することはできません。通知の内容を必ず確認してください。			

高 齢 者 分 野			施設・職種 コード
施設種類		相談援助業務の実務経験として認められる職種	
介護 保 険 法	指定認知症対応型共同生活介護を行う施設 (指定介護予防認知症対応型共同生活介護を行う施設を含む) 2-(46)	介護支援専門員 (配置基準により配置されている資格保有者に限る)	<b>2171</b>
	指定複合型サービスを行う施設 2-(46)	介護支援専門員 (配置基準により配置されている資格保有者に限る)	<b>2791</b>
	指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を行う施設 2-(47)	生活相談員	<b>2191</b>
		介護支援専門員 (配置基準により配置されている資格保有者に限る)	<b>2192</b>
	居宅介護支援事業を行っている事業所 2-(48)	介護支援専門員 (配置基準により配置されている資格保有者に限る)	<b>2201</b>
	介護予防支援事業を行っている事業所 2-(49)	担当職員	<b>2211</b>
第一号介護予防支援事業を行っている事業所 2-(49)	担当職員	<b>2911</b>	
老 人 福 祉 法	養護老人ホーム 1-(20)	生活相談員	<b>1051</b>
		生活指導員	<b>1052</b>
	特別養護老人ホーム (地域密着型特別養護老人ホームを含む) 1-(20)	生活相談員	<b>1061</b>
		生活指導員	<b>1062</b>
	軽費老人ホーム 〔軽費老人ホーム(A型、B型) 、ケアハウスを含む〕 1-(20)	生活相談員	<b>1071</b>
		生活指導員	<b>1072</b>
	老人福祉センター (特A型、A型、B型) 1-(20)	相談・指導を行う職員	<b>1081</b>
	老人短期入所施設 1-(20)	生活相談員	<b>1091</b>
		生活指導員	<b>1092</b>
	老人デイサービスセンター 1-(20)	生活相談員	<b>1101</b>
生活指導員		<b>1102</b>	
老人介護支援センター (在宅介護支援センター) 1-(20)	相談援助業務を行っている職員	<b>1111</b>	
有料老人ホーム 2-(3)	生活相談員	<b>2271</b>	
そ の 他	高齢者総合相談センター 2-(8)	相談援助業務を行っている相談員	<b>2281</b>
	生活支援ハウス (高齢者生活福祉センター) 2-(50)	生活援助員	<b>2251</b>
	高齢者の安心な住まいの確保に資する事業 〔高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)、 多くの高齢者が居住する集合住宅等において 実施する事業〕 2-(51)	相談援助業務を行っている生活援助員	<b>2261</b>
	サービス付き高齢者向け住宅 2-(52)	相談援助業務を行っている職員	<b>2801</b>

障害者分野			施設・職種コード	
施設種類		相談援助業務の実務経験として認められる職種		
身体障害者福祉法	身体障害者更生相談所 1-(12)	身体障害者福祉司	<b>1321</b>	
		心理判定員	<b>1322</b>	
		職能判定員	<b>1323</b>	
		ケース・ワーカー	<b>1324</b>	
	身体障害者福祉センター (身体障害者福祉センター(A型、B型) 在宅障害者デイサービス施設 (身体障害者デイサービスセンター) 障害者更生センター) 1-(13)	身体障害者に関する相談に応ずる職員	<b>1331</b>	
点字図書館 2-(29)	相談援助業務を行っている職員	<b>2321</b>		
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	精神保健福祉センター 1-(14)	精神保健福祉相談員 (精神障害者に関する相談援助業務を行っている職員)	<b>1341</b>	
		精神保健福祉士 (精神障害者に関する相談援助業務を行っている職員)	<b>1342</b>	
		精神科ソーシャルワーカー (精神障害者に関する相談援助業務を行っている職員)	<b>1343</b>	
知的障害者福祉法	知的障害者更生相談所 1-(19)	知的障害者福祉司	<b>1351</b>	
		心理判定員	<b>1352</b>	
		職能判定員	<b>1353</b>	
		ケース・ワーカー	<b>1354</b>	
障害者総合支援法	障害者支援施設 1-(24)	★生活支援員(※7)	<b>1121</b>	
		就労支援員	<b>1122</b>	
		サービス管理責任者	<b>1123</b>	
	地域活動支援センター 1-(25)	★指導員(※7)	<b>1131</b>	
	福祉ホーム 1-(26)	管理人	<b>1141</b>	
	基幹相談支援センター 2-(80)	相談援助業務を行っている職員	<b>5121</b>	
	身体障害者更生支援施設	身体障害者更生施設 (肢体不自由者更生施設 視覚障害者更生施設 聴覚・言語障害者更生施設 内部障害者更生施設) 2-(5)	★生活支援員(※7)	<b>2831</b>
			★生活指導員(※7)	<b>2832</b>
		身体障害者療護施設 2-(5)	★生活支援員(※7)	<b>2841</b>
			★生活指導員(※7)	<b>2842</b>
	身体障害者授産施設 (入所、通所、小規模通所) 2-(5)	★生活支援員(※7)	<b>2851</b>	
		★生活指導員(※7)	<b>2852</b>	
	身体障害者福祉工場 2-(5)	★指導員(※7)	<b>2861</b>	
	精神障害者社会復帰施設	精神障害者生活訓練施設 2-(6)	精神保健福祉士	<b>1191</b>
			精神障害者社会復帰指導員	<b>1192</b>
精神障害者授産施設 (入所、通所、小規模通所) 2-(6)		精神保健福祉士	<b>1201</b>	
		精神障害者社会復帰指導員	<b>1202</b>	
精神障害者福祉工場 2-(6)	精神保健福祉士	<b>1211</b>		
	精神障害者社会復帰指導員	<b>1212</b>		
精神障害者福祉ホーム 2-(6)	管理人	<b>1221</b>		

障 害 者 分 野			施設・職種 コード		
施 設 種 類		相談援助業務の実務経験として認められる職種			
障 害 者 総 合 支 援 法	知的 障害 者 援 護 施 設	知的障害者更生施設 (入所、通所) 2-(7)	★生活支援員 (※7) ★生活指導員 (※7)	<b>1231</b> <b>1232</b>	
		知的障害者授産施設 (入所、通所、小規模通所) 2-(7)	★生活支援員 (※7) ★生活指導員 (※7)	<b>1241</b> <b>1242</b>	
		知的障害者通勤寮 2-(7)	★生活支援員 (※7) ★生活指導員 (※7)	<b>1251</b> <b>1252</b>	
		障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	生活介護を行う施設 1-(27)	★生活支援員 (※7) サービス管理責任者	<b>1271</b> <b>1272</b>
			自立訓練を行う施設 (機能訓練、生活訓練) 1-(27)	★生活支援員 (※7) サービス管理責任者	<b>1281</b> <b>1282</b>
			就労移行支援を行う施設 (認定就労移行支援を含む) 1-(27)	★生活支援員 (※7)	<b>1291</b>
	就労支援員			<b>1292</b>	
	サービス管理責任者			<b>1293</b>	
	就労継続支援を行う施設 (A型、B型) 1-(27)		★生活支援員 (※7)	<b>1301</b>	
			サービス管理責任者	<b>1302</b>	
	就労定着支援を行う施設 1-(27)		就労定着支援員	<b>1621</b>	
			サービス管理責任者	<b>1622</b>	
	自立生活援助を行う施設 1-(27)		地域生活支援員	<b>1631</b>	
			サービス管理責任者	<b>1632</b>	
	療養介護を行う施設 2-(31)		相談援助業務を行っている職員	<b>1261</b>	
	短期入所を行う施設 〔身体障害者短期入所事業、 知的障害者短期入所事業を含む〕 2-(31)		相談援助業務を行っている職員	<b>2341</b>	
			重度障害者等包括支援を行う施設 2-(31)	相談援助業務を行っている職員	<b>2351</b>
	共同生活介護を行う施設 2-(30)	相談援助業務を行っている職員	<b>2361</b>		
	共同生活援助を行う施設 〔精神障害者グループホーム、 知的障害者グループホームを含む〕 2-(31)	相談援助業務を行っている職員	<b>2371</b>		
		地 域 生 活 支 援 事 業	身体障害者自立支援事業を行っている施設 2-(35)	相談援助業務を行っている職員	<b>2381</b>
日中一時支援事業を行っている施設 2-(36)	相談援助業務を行っている職員		<b>2391</b>		
障害者相談支援事業を行っている施設 2-(36)	相談援助業務を行っている職員		<b>2431</b>		
一般相談支援事業所 1-(28)	相談支援専門員	<b>1591</b>			
特定相談支援事業所 1-(29)	相談支援専門員	<b>1601</b>			
相談支援事業を行う施設 2-(34)	相談支援専門員	<b>2871</b>			
<p>注意事項  (※7) 「生活支援員、生活指導員、指導員」のうち、「介護等の業務を行う生活支援員、生活指導員、指導員」として介護福祉士国家試験を受験した方は、その実務経験をもって社会福祉士国家試験を受験することはできません。(介護福祉士国家試験のみ受験できます。)</p> <p>★印の職種のうち、介護福祉士養成施設等を卒業した経過措置対象者(期限付き介護福祉士登録者)が、経過措置期間に主たる業務として介護等の業務に5年間従事して経過措置の解除を行おうとする場合には、その実務経験をもって社会福祉士国家試験を受験することはできません。</p>					



障 害 者 分 野			施設・職種 コード
施 設 種 類		相談援助業務の実務経験として認められる職種	
のぞみの園法	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設「のぞみの園」 2-(14)	相談援助業務を行っている指導員	<b>2301</b>
		相談援助業務を行っているケースワーカー	<b>2302</b>
発達障害者支援法	発達障害者支援センター 2-(64)	相談支援を担当する職員	<b>2461</b>
		就労支援を担当する職員	<b>2462</b>
障害者の雇用の促進等に関する法律	広域障害者職業センター 2-(65)	障害者職業カウンセラー	<b>2471</b>
		障害者職業カウンセラー	<b>2481</b>
	地域障害者職業センター 2-(66)	職場適応援助者	<b>2482</b>
		障害者の雇用の促進等に関する法律第28条第1号、第2号及び第7号に規定する業務を行う職員	<b>2711</b>
	障害者就業・生活支援センター 2-(70)	主任就業支援担当者	<b>2501</b>
		就業支援担当者	<b>2502</b>
		生活支援担当職員	<b>2503</b>
職業安定法	公共職業安定所 2-(71)	精神障害者雇用トータルサポーター	<b>2981</b>
		発達障害者雇用トータルサポーター	<b>2982</b>
その他	知的障害者福祉工場 2-(15)	相談援助業務を行っている指導員	<b>2311</b>
	聴覚障害者情報提供施設 2-(29)	相談援助業務を行っている職員	<b>2331</b>
	精神障害者地域移行支援特別対策事業を行っている施設 2-(37)	地域体制整備コーディネーター	<b>2731</b>
		地域移行推進員	<b>2732</b>
	精神障害者地域移行・地域定着支援事業を行っている施設 2-(38)	地域体制整備コーディネーター	<b>2811</b>
		地域移行推進員	<b>2812</b>
	精神障害者アウトリーチ推進事業を行っている施設 2-(39)	相談援助業務を行っている職員 〔医師、保健師、看護師、作業療法士その他〕 〔医療法に規定する病院として必要な職員を除く〕	<b>2821</b>
	アウトリーチ事業、アウトリーチ支援に係る事業を行っている施設 2-(40)	相談援助業務を行っている職員 〔医師、保健師、看護師、作業療法士その他〕 〔医療法に規定する病院として必要な職員を除く〕	<b>2881</b>
第1号職場適応援助者助成金受給資格認定法人 2-(67)	第1号職場適応援助者養成研修を修了した職員であって、ジョブコーチ支援を行っている者	<b>2491</b>	
訪問型職場適応援助に係る受給資格認定法人 2-(69)	訪問型職場適応援助者養成研修を修了した職員であって、ジョブコーチ支援を行っている者	<b>2921</b>	

そ の 他 の 分 野			施設・職種 コード
施 設 種 類		相談援助業務の実務経験として認められる職種	
地域保健法	保健所 1-(1)	精神保健福祉相談員 (精神障害者に関する相談援助業務を行っている職員)	<b>1511</b>
		精神保健福祉士 (精神障害者に関する相談援助業務を行っている職員)	<b>1512</b>
		精神科ソーシャルワーカー (精神障害者に関する相談援助業務を行っている職員)	<b>1513</b>

その他の分野			施設・職種コード	
施設種類		相談援助業務の実務経験として認められる職種		
医療法	病院・診療所	相談員（医療ソーシャルワーカー等） 次のアからエまでのすべての相談援助業務を行っている職員 ア 患者の経済的問題の解決、調整に係る相談援助 イ 患者が抱える心理的・社会的問題の解決、調整に係る相談援助 ウ 患者の社会復帰に係る相談援助 エ 以上の相談援助業務を行うための地域における保健医療福祉の関係機関、関係職種等との連携等の活動	<b>1521</b>	
		1-(11) 退院後生活環境相談員	<b>1522</b>	
生活保護法	救護施設	1-(15) 生活指導員	<b>1491</b>	
	更生施設	1-(15) 生活指導員	<b>1501</b>	
	授産施設	2-(1) 指導員（作業指導員、職業指導員を除く）	<b>2591</b>	
	宿所提供施設	2-(1) 指導員（作業指導員、職業指導員を除く）	<b>2601</b>	
	被保護者就労支援事業を行っている事業所	2-(63) 就労支援員	<b>2931</b>	
生活困窮者自立支援法	生活困窮者自立相談支援事業を行っている自立相談支援機関 生活困窮者家計改善支援事業を行っている事業所	主任相談支援員	<b>2941</b>	
		相談支援員	<b>2942</b>	
		就労支援員	<b>2943</b>	
		2-(62) 家計改善支援員（家計相談支援員を含む）	<b>2944</b>	
社会福祉法	福祉事務所	査察指導員（指導監督を行う職員）	<b>1471</b>	
		身体障害者福祉司（指導監督を行う職員）	<b>1472</b>	
		知的障害者福祉司（指導監督を行う職員）	<b>1473</b>	
		老人福祉指導主事（指導監督を行う職員）	<b>1474</b>	
		現業員・ケースワーカー	<b>1481</b>	
		家庭児童福祉主事	<b>1482</b>	
		家庭相談員	<b>1483</b>	
		面接相談員	<b>1484</b>	
		婦人相談員	<b>1485</b>	
		母子・父子自立支援員、母子相談員	<b>1486</b>	
		「セーフティネット支援対策等事業の実施について」別添1の3（1）に規定する就労支援事業に従事する就労支援員	<b>1487</b>	
		1-(16) 生活保護法第55条の7第1項に規定する被保護者就労支援事業に従事する就労支援員	<b>1488</b>	
		隣保館	2-(9) 相談援助業務を行っている指導職員	<b>2611</b>
		都道府県社会福祉協議会 日常生活自立支援事業	2-(10) 専門員	<b>2621</b>
相談援助業務を行っている職員 〔主として高齢者、障害者、児童、生活困窮者 その他要援護者に対する者に限る。〕	<b>2622</b>			
市（特別区を含む）町村社会福祉協議会	福祉活動専門員	<b>2631</b>		
	2-(11) 相談援助業務を行っている職員 〔主として高齢者、障害者、児童、生活困窮者 その他要援護者に対する者に限る。〕	<b>2632</b>		

その他の分野			施設・職種 コード	
施設種類		相談援助業務の実務経験として認められる職種		
売春防止法	婦人相談所	1-(17)	相談指導員	<b>1531</b>
			判定員（心理・職能判定員）	<b>1532</b>
			婦人相談員	<b>1533</b>
	婦人保護施設	1-(18)	入所者を指導する職員	<b>1541</b>
並びに母子及び父子に寡婦福祉法	母子・父子福祉センター	1-(21)	母子及び父子の相談を行う職員、 母子相談員（母子の相談を行う職員）	<b>1551</b>
刑事収容施設法	刑事施設	2-(16)	刑務官	<b>5011</b>
			法務教官	<b>5012</b>
			法務技官（心理）	<b>5013</b>
			福祉専門官	<b>5014</b>
少年院法	少年院	2-(16)	法務教官	<b>5021</b>
			法務技官（心理）	<b>5022</b>
			福祉専門官	<b>5023</b>
鑑別所法	少年鑑別所	2-(16)	法務教官	<b>5031</b>
			法務技官（心理）	<b>5032</b>
更生保護法	地方更生保護委員会	2-(17)	保護観察官	<b>2641</b>
			社会復帰調整官	<b>2642</b>
	保護観察所	2-(17)	保護観察官	<b>2651</b>
			社会復帰調整官	<b>2652</b>
更生保護事業法	更生保護施設	2-(18)	補導主任	<b>2661</b>
			補導員	<b>2662</b>
			福祉職員	<b>2663</b>
			薬物専門職員	<b>2664</b>
所裁判	家庭裁判所	2-(81)	家庭裁判所調査官	<b>5131</b>
補償労働者災害保険法	労災特別介護施設	2-(19)	相談援助業務を行っている指導員	<b>2671</b>
医療等に難病の患者に対する法律	難病相談支援センター	2-(73)	難病相談支援員	<b>5061</b>

の成年後見制度に関する法律	「権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり」において設置される中核機関 2-(79)	相談援助業務を行っている職員	<b>5141</b>
	母子家庭等就業・自立支援センター事業、一般市等就業・自立支援事業を行っている施設 2-(23)	相談援助業務を行っている相談員	<b>2721</b>
その他	母子・父子自立支援プログラム策定事業 2-(26)	母子・父子自立支援プログラム策定員	<b>5041</b>
	就業支援専門員配置等事業 2-(27)	就業支援専門員	<b>5051</b>
	地域福祉センター 2-(53)	相談援助業務を行っている職員	<b>2681</b>
	就労支援事業を行っている事業所 〔自立支援プログラム策定実施推進事業〕 〔実施要領に規定する事業〕 2-(54)	就労支援員	<b>2951</b>
	ひきこもり地域支援センター 2-(55)	ひきこもり支援コーディネーター	<b>2751</b>
		その他相談援助業務を行っている職員	<b>2752</b>
	地域生活定着支援センター 2-(56)	相談援助業務を行っている職員	<b>2761</b>
	ホームレス総合相談推進業務を行っている事業所 2-(57)	相談援助業務を行っている相談員	<b>2691</b>

その他の分野			施設・職種 コード	
施設種類		相談援助業務の実務経験として認められる職種		
そ の 他	ホームレス自立支援センター	2-(58)	生活相談指導員	<b>2701</b>
	東日本大震災の被災者に対する相談援助業務を実施する事業所	2-(59)	相談援助業務を行っている職員	<b>2961</b>
	熊本地震の被災者に対する相談援助業務を実施する事業所	2-(60)	相談援助業務を行っている職員	<b>2971</b>
	自立相談支援機関(自立相談支援モデル事業) 家計相談支援モデル事業を行っている事業所	2-(61)	主任相談支援員	<b>2891</b>
			相談支援員	<b>2892</b>
			就労支援員	<b>2893</b>
			家計相談支援員	<b>2894</b>
	高次脳機能障害の支援の拠点となる機関	2-(74)	支援コーディネーター	<b>5071</b>
	地域若者サポートステーション	2-(77)	相談援助業務を行っている職員	<b>5151</b>
	子ども・若者総合相談センター	2-(78)	相談援助業務を行っている職員	<b>5161</b>
厚生労働大臣が個別に認めた施設	2-(84)	相談援助業務を行っている職員	<b>9999</b>	

※上表に具体的に示されたもの以外の施設で、福祉に関する相談援助の業務を行っている専任の相談員は、厚生労働大臣が個別に認める場合があります。21ページ「4(1)認定基準」に該当する場合は、「実務経験証明書(兼実務経験見込証明書)」の「施設・職種コード」欄に「9999」と記入ください。厚生労働大臣の個別認定にあたって、別途書類が必要になりますので、後日入学相談室から志願者本人へ連絡します。

以下に掲げる事業・職種は、すでに廃止されていますが、過去においてこれらの事業に従事していた期間は、社会福祉士の受験に必要な実務経験の対象となります。

施設・事業種類	相談援助業務の実務経験として認められる職種	施設・職種 コード
重度身体障害者更生援護施設	生活支援員	<b>3011</b>
	生活指導員	<b>3012</b>
身体障害者福祉ホーム	管理人	<b>3021</b>
精神障害者地域生活支援センター	精神保健福祉士	<b>3031</b>
	精神障害者社会復帰指導員	<b>3032</b>
経過的精神障害者地域生活支援センター事業を行っている施設(障害者自立支援法地域生活支援事業) 〔平成18年10月～19年3月〕	相談援助業務を行っている職員	<b>3171</b>
精神障害者退院促進支援事業を行っている施設	相談援助業務を行っている職員	<b>3181</b>
知的障害者デイサービスセンター	指導員	<b>3041</b>
	生活指導員	<b>3043</b>
	相談援助業務を行っている職員	<b>3042</b>
知的障害者福祉ホーム	管理人	<b>3051</b>

<p>身体障害者相談支援事業  (市町村障害者生活支援事業)</p> <p>〔身体障害者更生施設、身体障害者療護施設、身体障害者福祉センター、身体障害者デイサービスセンター等において実施する事業〕</p> <p>障害児相談支援事業、知的障害者相談支援事業  (療育等支援施設事業)</p> <p>〔知的障害児施設、知的障害児通園施設、自閉症児施設、盲ろうあ児施設、難聴幼児通園施設、肢体不自由児施設、肢体不自由児療護施設、肢体不自由児通園施設、重症心身障害児施設、知的障害者更生施設、知的障害者授産施設において実施する事業〕</p>	相談援助業務を行っている職員	<b>3061</b>
--	----------------	-------------

施設・事業種類	相談援助業務の実務経験として認められる職種	施設・職種コード
<p>障害者デイサービスを行う施設  (障害者自立支援法障害福祉サービス事業)</p> <p>〔身体障害者デイサービス事業、知的障害者デイサービス事業を含む〕</p>	相談援助業務を行っている職員	<b>3071</b>
<p>経過的デイサービス事業を行っている施設  (障害者自立支援法地域生活支援事業)〔平成18年10月～19年3月〕</p>	相談援助業務を行っている職員	<b>3191</b>
「障害者110番」運営事業を行っている施設	相談援助業務を行っている相談員	<b>3081</b>
<p>知的障害者生活支援事業</p> <p>〔知的障害者通勤寮、知的障害者更生施設、知的障害者授産施設、障害者能力開発施設において実施する事業〕</p>	相談援助業務を行っている職員	<b>3091</b>
<p>高齢者住宅等安心確保事業</p> <p>〔高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)、高齢者向け優良賃貸住宅、高齢者円滑入居賃貸住宅(登録住宅)等において実施する事業〕</p> <p>高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業  (高齢者世話付住宅において実施する事業)</p>	生活援助員	<b>3101</b>
<p>家庭支援電話相談(子ども・家庭110番)事業  (中央児童相談所において実施する事業)</p>	電話相談員	<b>3111</b>
<p>ヴェトナム難民収容施設  (日本赤十字社が設置するもの)</p>	相談援助業務を行っている指導員	<b>3121</b>
<p>子ども家庭相談事業</p> <p>〔児童センター、市に設置された児童館において実施する事業〕</p>	相談援助業務を行っている相談員	<b>3131</b>
<p>乳幼児健全育成相談事業  (保育所、乳児院において実施する事業)</p>	相談援助業務を行っている相談員	<b>3141</b>
<p>すこやかテレホン事業  (青少年相談センターにおいて実施する事業)</p>	相談援助業務を行っている相談員	<b>3151</b>
<p>知的障害者専門相談(法的助言・相談)事業  (都道府県・指定都市等において実施する事業)</p>	相談援助業務を行っている相談員	<b>3161</b>
地域子育て支援センター事業を行っている施設	相談援助業務を行っている職員	<b>3201</b>

○ 「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について」(昭和63年2月12日社庶第29号厚生省社会局長、厚生省児童家庭局長通知)

1 福祉に関する相談援助業務の範囲

社会福祉士及び介護福祉士法施行規則(昭和62年厚生省令第49号。以下「施行規則」という。)第2条第1号から第13号までに定める施設において、福祉に関する相談援助の実務経験を有すると認められる職種は次のとおりとする。

- (1) 施行規則第2条第1号に規定する保健所においては、精神障害者に関する相談援助業務を行っている精神保健福祉相談員、精神保健福祉士及び精神科ソーシャルワーカー
- (2) 施行規則第2条第2号に規定する児童相談所においては、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第13条第1項に規定する児童福祉司、「児童相談所運営指針について」(平成2年3月5日付け児発第133号)第2章第4節に規定する受付相談員、相談員、電話相談員、児童心理司、児童指導員及び保育士
- (3) 施行規則第2条第2号に規定する母子生活支援施設においては、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準(昭和23年厚生省令第63号)第27条第1項に規定する母子支援員(児童福祉施設最低基準等の一部を改正する省令(平成23年厚生労働省令第71号)による改正前の児童福祉施設最低基準第27条に規定する母子指導員を含む。)及び少年を指導する職員並びに「家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、心理療法担当職員、個別対応職員、職業指導員及び医療的ケアを担当する職員の配置について」(平成24年4月5日付け雇児発0405第11号)に規定する個別対応職員
- (4) 施行規則第2条第2号に規定する児童養護施設においては、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第42条第1項及び第5項に規定する児童指導員、保育士、個別対応職員、家庭支援専門相談員及び職業指導員並びに「家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、心理療法担当職員、個別対応職員、職業指導員及び医療的ケアを担当する職員の配置について」に規定する里親支援専門相談員
- (5) 施行規則第2条第2号に規定する障害児入所施設及び障害児通所支援事業を行う施設(児童発達支援センターに限る。)においては、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第49条第1項(同条第9項において準用される場合を含む。)、第4項、第12項及び第14項、第58条第1項、第3項及び第6項、第63条第1項、第4項及び第7項並びに第69条に規定する児童指導員、保育士、児童発達支援管理責任者及び心理指導担当職員
- (6) 施行規則第2条第2号に規定する児童心理治療施設においては、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第73条第1項に規定する児童指導員、保育士、個別対応職員及び家庭支援専門相談員
- (7) 施行規則第2条第2号に規定する児童自立支援施設においては、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第80条第1項及び第5項に規定する児童自立支援専門員、児童生活支援員、個別対応職員、家庭支援専門相談員及び職業指導員
- (8) 施行規則第2条第2号に規定する児童家庭支援センターにおいては、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第88条の3第1項に規定する職員
- (9) 施行規則第2条第2号に規定する障害児通所支援事業を行う施設(児童発達支援センターを除く。)においては、児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準(平成24年厚生労働省令第15号。以下「指定通所基準」という。)第5条第1項第1号及び第2号、第2項並びに第3項第3号、第4号及び第5号、第54条の6第1項第1号及び第2号、第56条第1項第2号、第3号及び第6号並びに第2項、第66条第1項第1号及び第2号、第2項並びに第3項第3号、第4号及び第5号、第71条の3第1項第1号及び第2号、第71条の8第1項第1号及び第2号並びに第73条第1項第1号及び第2号に規定する児童指導員、保育士、障害福祉サービス経験者、児童発達支援管理責任者、機能訓練担当職員(心理指導担当職員に限る。)及び訪問支援員(保育士、児童指導員、心理指導担当職員に限る。)並びに児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令(平成29年厚生労働省令第6号)による改正前の指定通所基準第66条第1項第1号、第71条の2第1項第1号並びに児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令(平成30年厚生労働省令第3号)による改正前の指定通所基準第5条第1項第1号及び第54条の2第1項第1号に規定する指導員
- (10) 施行規則第2条第2号に規定する障害児相談支援事業を行う施設においては、児童福祉法に基づく指定障害児相談支援の事業の人員及び運営に関する基準(平成24年厚生労働省令第29号)第3条第1項に規定する相談支援専門員
- (11) 施行規則第2条第3号に規定する病院及び診療所においては、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第33条の4に規定する退院後生活環境相談員又は次のアからエまでの相談援助業務を行っている職員  
ア 患者の経済的問題の解決、調整に係る相談援助  
イ 患者が抱える心理的・社会的問題の解決、調整に係る相談援助  
ウ 患者の社会復帰に係る相談援助  
エ 以上の相談援助業務を行うための地域における保健医療福祉の関係機関、関係職種等との連携等の活動
- (12) 施行規則第2条第4号に規定する身体障害者更生相談所においては、「身体障害者更生相談所の設置及び運営について」(平成15年3月25日付け障発第0325001号)第1に規定する身体障害者福祉司、心理判定員、職能判定員及びケース・ワーカー
- (13) 施行規則第2条第4号に規定する身体障害者福祉センターにおいては、身体障害者社会参加支援施設の設備及び運営に関する基準(平成15年厚生労働省令第21号)第19条に規定する身体障害者に関する相談に応ずる職員
- (14) 施行規則第2条第5号に規定する精神保健福祉センターにおいては、精神障害者に関する相談援助業務を行っている精神保健福祉相談員及び精神保健福祉士並びに精神科ソーシャルワーカー
- (15) 施行規則第2条第6号に規定する救護施設及び更生施設においては、救護施設、更生施設、授産施設及び宿所提供施設の設備及び運営に関する基準(昭和41年厚生省令第18号)第11条第1項第3号及び第19条第1項第3号に規定する生活指導員
- (16) 施行規則第2条第7号に規定する福祉に関する事務所においては、社会福祉法(昭和26年法律第45号)第15条第1項第1号に規定する指導監督を行う所員(査察指導員)、身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第11条の2第1項及び第2項に規定する身体障害者福祉司、知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第13条第1項及び第2項に規定する知的障害者福祉司、老人福祉法(昭和38年法律第133号)第6条及び第7条に規定する社会福祉主事(老人福祉指導主事)、社会福祉法第15条第1項第2号に規定する現業を行う所員(現業員)、「家庭児童相談室の設置運営について」(昭和39年4月22日付け厚生省発児第92号)別紙(家庭児童相談室設置運営要綱)第5に規定する家庭児童福祉の業務に従事する社会福祉主事(家庭児童福祉主事)及び家庭児童福祉に

関する相談指導業務に従事する職員（家庭相談員）、「福祉事務所における福祉五法の実施体制の整備について」（昭和45年4月9日付け社庶第74号）に規定する面接相談員、売春防止法（昭和31年法律第118号）第35条第1項及び第2項に規定する婦人相談員並びに母子及び父子並びに寡婦福祉法（昭和39年法律第129号）第8条第1項に規定する母子・父子自立支援員、「セーフティネット支援対策等事業の実施について」（平成17年3月31日付け社援発第0331021号）別添1（自立支援プログラム策定実施推進事業実施要領）3（1）に規定する就労支援事業に従事する就労支援員及び生活保護法（昭和25年法律第144号）第55条の7第1項に規定する被保護者就労支援事業に従事する就労支援員

- (17) 施行規則第2条第8号に規定する婦人相談所にあつては、「婦人相談所設置要綱について」（昭和38年3月19日付け厚生省発社第35号）別紙（婦人相談所設置要綱）第2に規定する相談指導員又は判定員並びに売春防止法第35条第1項及び第2項に規定する婦人相談員
- (18) 施行規則第2条第8号に規定する婦人保護施設にあつては、婦人保護施設の設備及び運営に関する基準（平成14年厚生労働省令第49号）第8条第1項に規定する入所者を指導する職員
- (19) 施行規則第2条第9号に規定する知的障害者更生相談所にあつては、知的障害者福祉法第13条第1項に規定する知的障害者福祉司、「知的障害者更生相談所の設置及び運営について」（平成15年3月25日付け障発第0325002号）第1に規定する心理判定員、職能判定員及びケース・ワーカー
- (20) 施行規則第2条第10号に規定する養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人短期入所施設、老人デイサービスセンター及び老人介護支援センターにあつては、養護老人ホームの設備及び運営に関する基準（昭和41年厚生省令第19号）第12条第1項第3号及び同条第2項第1号に規定する生活相談員、特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準（平成11年厚生省令第46号）第12条第1項第3号及び第56条第1項第3号に規定する生活相談員、軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準（平成20年厚生労働省令第107号）第11条第1項第2号に規定する生活相談員、同令附則第6条第1項第2号に規定する主任生活相談員及び生活相談員、同令附則第14条第1項第3号に規定する入所者の生活、身上に関する相談及び助言並びに日常生活の世話をを行う職員、「老人福祉法による老人福祉センターの設置及び運営について」（昭和52年8月1日付け社老第48号）別紙1（老人福祉センター設置運営要綱）第2条第3項及び第3条第3項における相談・指導を行う職員、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成11年厚生省令第37号）第93条第1項第1号及び第121条第1項第2号並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第34号）第20条第1項第1号及び第42条第1項第1号に規定する生活相談員、指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準（平成18年厚生労働省令第35号。以下「指定介護予防サービス等基準」という。）第129条第1項第2号、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準（平成18年厚生労働省令第36号）第5条第1項第1号及び介護保険法施行規則等の一部を改正する省令（平成27年厚生労働省令第4号）第5条の規定による改正前の指定介護予防サービス等基準第97条第1項第1号（介護保険法施行規則等の一部を改正する省令附則第4条第3号の規定によりなおその効力を有するものとされたものを含む。）に規定する生活相談員、介護保険法施行規則（平成11年厚生省令第36号）第140条の63の6第1号イの規定により例によるものとされた介護保険法施行規則等の一部を改正する省令第5条の規定による改正前の指定介護予防サービス等基準第97条第1項第1号に規定する生活相談員並びに老人介護支援センターにおいて相談援助業務を行っている職員
- (21) 施行規則第2条第11号に規定する母子・父子福祉センターにあつては、「母子・父子福祉施設の設備及び運営について」（平成26年9月30日付け厚生労働省発雇児0930第4号）母子・父子福祉施設設置要綱第1に規定する母子及び父子の相談を行う職員
- (22) 施行規則第2条第12号に規定する介護保険施設にあつては、指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準（平成11年厚生省令第39号）第2条第1項第2号に規定する生活相談員及び同項第6号に規定する介護支援専門員、介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準（平成11年厚生省令第40号）第2条第1項第4号に規定する支援相談員及び同項第7号に規定する介護支援専門員、介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準（平成30年厚生労働省令第5号）第4条第1項第7号及び同条第7項第3号に規定する介護支援専門員、健康保険法等の一部を改正する法律（平成18年法律第83号）附則第130条の2第1項の規定によりなおその効力を有するものとされた指定介護療養型医療施設にあつては、指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営に関する基準（平成11年厚生省令第41号）第2条第1項第5号、第2項第4号及び第3項第6号に規定する介護支援専門員並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準第131条第1項第2号に規定する生活相談員及び同項第6号に規定する介護支援専門員
- (23) 施行規則第2条第12号に規定する地域包括支援センターにあつては、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の46第1項に規定する包括的支援事業（同法第115条の45第2項第4号から第6号までに掲げる事業（認知症初期集中支援推進事業を除く。）を除く。）に係る業務を行う職員
- (24) 施行規則第2条第13号に規定する障害者支援施設にあつては、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者支援施設の設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第177号）第11条第1項第2号イ(2)、第3号イ(1)及びロ、第4号イ(1)（同号ロにおいて読み替えられる場合を含む。）及びハ、第5号イ(1)及びロ(1)、第6号イ(1)並びに第7号イ(1)に規定する生活支援員、同項第5号イ(2)に規定する就労支援員及び同項第2号イ(3)、第3号イ(2)、第4号イ(2)、第5号イ(3)及びロ(2)、第6号イ(2)並びに第7号イ(2)に規定するサービス管理責任者
- (25) 施行規則第2条第13号に規定する地域活動支援センターにあつては、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センターの設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第175号）第9条第1項第2号に規定する指導員
- (26) 施行規則第2条第13号に規定する福祉ホームにあつては、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく福祉ホームの設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第176号）第10条第1項に規定する管理人
- (27) 施行規則第2条第13号に規定する障害福祉サービス事業にあつては、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第174号）第39条第1項第3号、第52条第1項第2号及び第2項、第59条第1項第2号（第2項において読み替えられる場合を含む。）及び第3項、第64条第1項第2号、



第65条第1項第2号並びに第75条第1項第2号（第88条において準用する場合を含む。）に規定する生活支援員、同令第64条第1項第3号に規定する就労支援員、同令第39条第1項第4号、第52条第1項第3号、第59条第1項第4号、第64条第1項第4号、第65条第1項第3号及び第75条第1項第3号（第88条において準用する場合を含む。）に規定するサービス管理責任者並びに障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第171号）第206条の3第1項に規定する就労定着支援員、同令第206条の3第2項及び第206条の14第1項第2号に規定するサービス管理責任者及び同令第206条の14第1項第1号に規定する地域生活支援員

- (28) 施行規則第2条第13号に規定する一般相談支援事業を行う施設にあっては、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定地域相談支援の事業の人員及び運営に関する基準（平成24年厚生労働省令第27号）第3条第2項に規定する相談支援専門員
- (29) 施行規則第2条第13号に規定する特定相談支援事業を行う施設にあっては、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定計画相談支援の事業の人員及び運営に関する基準（平成24年厚生労働省令第28号）第3条第1項に規定する相談支援専門員

## 2 施行規則第2条第14号に規定する施設及び当該施設において福祉に関する相談援助の実務経験を有すると認められる職種の範囲

施行規則第2条第1号から第13号までに掲げる施設に準ずる施設として厚生労働大臣が認める施設及び当該施設において、福祉に関する相談援助の実務経験を有すると認められる職種は、次のとおりとする。

- (1) 生活保護法第38条第1項第4号及び第5号に規定する授産施設及び宿所提供施設
- ・「生活保護法による保護施設事務費及び委託事務費の支弁基準について」（平成20年3月31日付け厚生労働省発社援第0331011号）に基づき配置された指導員
- (2) 児童福祉法第37条に規定する乳児院
- ・児童指導員、保育士、個別対応職員、家庭支援専門相談員及び里親支援専門相談員
- (3) 老人福祉法第29条に規定する有料老人ホーム
- ・生活相談員
- (4) 指定特定施設入居者生活介護（介護保険法第41条第1項に規定する指定居宅サービス（以下「指定居宅サービス」という。）に該当する同法第8条第11項に規定する特定施設入居者生活介護をいう。）、指定地域密着型特定施設入居者生活介護（同法第42条の2第1項に規定する指定地域密着型サービス（以下「指定地域密着型サービス」という。）に該当する同法第8条第21項に規定する地域密着型特定施設入居者生活介護をいう。）又は指定介護予防特定施設入居者生活介護（同法第53条第1項に規定する指定介護予防サービス（以下「指定介護予防サービス」という。）に該当する同法第8条の2第11項に規定する介護予防特定施設入居者生活介護をいう。）を行う施設
- ・生活相談員及び計画作成担当者
- (5) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号。以下「障害者総合支援法」という。）附則第41条第1項の規定によりなお従前の例により運営をすることができることとされた同項に規定する身体障害者更生援護施設・障害者自立支援法の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令（平成18年厚生労働省令第169号。以下「整備省令」という。）第31条の規定による改正前の身体障害者更生援護施設の設備及び運営に関する基準（平成15年厚生労働省令第21号）第16条第1項第3号、第17条第1項第3号、第18条第1項第3号、第19条第1項第3号、第38条第1項第3号、第56条第1項第3号、第57条第1項第3号及び第58条第1項第3号に規定する生活支援員並びに「身体障害者福祉工場の設備及び運営について」（昭和47年7月22日付け社更第128号）別紙（身体障害者福祉工場設置要綱）7に規定する指導員
- (6) 障害者総合支援法附則第48条の規定によりなお従前の例により運営をすることができることとされた同条に規定する精神障害者社会復帰施設
- ・整備省令第1条の規定による廃止前の精神障害者社会復帰施設の設備及び運営に関する基準（平成12年厚生省令第87号）第16条第1項第2号、第26条第1項第2号及び第4項第2号並びに第37条第1項第2号に規定する精神保健福祉士及び精神障害者社会復帰指導員並びに同令第33条第1項第1号に規定する管理人
- (7) 障害者総合支援法附則第58条第1項の規定によりなお従前の例により運営をすることができることとされた同項に規定する知的障害者援護施設
- ・整備省令第1条の規定による廃止前の知的障害者援護施設の設備及び運営に関する基準（平成15年厚生労働省令第22号）第28条第1項第3号、第29条第1項第3号、第52条第1項第3号、第53条第1項第3号、第54条第1項第2号及び第63条第1項第3号に規定する生活支援員
- (8) 「高齢者総合相談センター運営事業の実施について」（昭和62年6月18日付け社老第80号）別紙（高齢者総合相談センター運営要綱）に基づく高齢者総合相談センター
- ・相談援助業務を行っている相談員
- (9) 「隣保館の設置及び運営について」（平成14年8月29日付け厚生労働省発社援第0829002号）に基づく隣保館
- ・相談援助業務を行っている指導職員
- (10) 都道府県社会福祉協議会
- ・「生活困窮者自立相談支援事業等の実施について」（平成27年7月27日付け社援発0727第2号）別添10（日常生活自立支援事業実施要領）5（1）に規定する専門員、その他相談援助業務（主として高齢者、障害者、児童、生活困窮者その他の要援護者に対する者に限る。）を行っている職員
- (11) （市（特別区を含む。）町村社会福祉協議会
- ・「社会福祉協議会活動の強化について」（平成11年4月8日付け社援第984号）別紙（社会福祉協議会企画指導員、福祉活動指導員、福祉活動専門員設置要綱）2に規定する福祉活動専門員その他相談援助業務（主として高齢者、障害者、児童その他の要援護者に対するものに限る。）を行っている職員
  - ・「生活困窮者自立相談支援事業等の実施について」（平成27年7月27日付け社援発0727第2号）別添10（日常生活自立支援事業実施要領）5（1）に規定する専門員、その他相談援助業務（主として高齢者、障害者、児童、生活困窮者その他の要援護者

に対する者に限る。)を行っている職員

- (12)障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律(平成22年法律第71号。以下「整備法」という。)第3条による改正前の障害者自立支援法第5条第8項に規定する児童デイサービス事業を行っている施設
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (13)児童福祉法第6条の2の2第3項に基づく厚生労働大臣の指定を受けた指定発達支援医療機関
  - ・児童指導員及び保育士
- (14)独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園法(平成14年法律第167号)第11条第1号に規定する施設
  - ・相談援助業務を行っている指導員及びケースワーカー
- (15)「知的障害者福祉工場の設置及び運営について」(昭和60年5月21日付け厚生省発児第104号)別紙(知的障害者福祉工場設置運営要綱)に基づく知的障害者福祉工場
  - ・相談援助業務を行っている指導員
- (16)刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律(平成17年法律第50号)第3条に規定する刑事施設、少年院法(平成26年法律第58号)第3条に規定する少年院及び少年鑑別所法(平成26年法律第59号)第3条に規定する少年鑑別所
  - ・刑務官、法務教官、法務技官(心理)及び福祉専門官
- (17)更生保護法(平成19年法律第88号)第16条及び第29条に規定する地方更生保護委員会及び保護観察所
  - ・保護観察官、社会復帰調整官
- (18)更生保護事業法施行規則(平成8年法務省令第25号)第1条第4項に規定する更生保護施設
  - ・補導主任、補導員、福祉職員及び薬物専門職員
- (19)労働者災害補償保険法(昭和22年法律第50号)第29条第1項第2号に基づき設置された労災特別介護施設
  - ・相談援助業務を行っている指導員
- (20)「心身障害児総合通園センターの設置について」(昭和54年7月11日付け発児第514号)別紙(心身障害児総合通園センター設置運営要綱)に基づく心身障害児総合通園センター
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (21)児童福祉法第6条の3第1項に規定する児童自立生活援助事業を行っている施設
  - ・相談援助業務を行っている指導員
- (22)児童福祉法第6条の3第3項に規定する子育て短期支援事業を行っている児童養護施設、母子生活支援施設、乳児院及び保育所等
  - ・談援助業務を行っている職員
- (23)「母子家庭等就業・自立支援事業の実施について」(平成20年7月22日付け雇児発第0722003号)別紙(母子家庭等就業・自立支援事業実施要綱)に基づく「母子家庭等就業・自立支援センター事業」及び「一般市等就業・自立支援事業」を行っている施設
  - ・相談援助業務を行っている相談員
- (24)児童福祉法第6条の3第6項に基づく地域子育て支援拠点事業を行っている施設
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (25)「利用者支援事業の実施について」(平成27年5月21日付け府本第83号・27文科初第270号・雇児発0521第1号)別紙(利用者支援事業実施要綱)に基づく「利用者支援事業」を行っている施設
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (26)「母子・父子自立支援プログラム策定事業の実施について」(平成26年9月30日付け雇児発0930第4号)別紙(母子・父子自立支援プログラム策定事業実施要綱)に基づく「母子・父子自立支援プログラム策定事業」を行っている施設
  - ・母子・父子自立支援プログラム策定員
- (27)「ひとり親家庭への総合的な支援のための相談窓口の強化事業の実施について」(平成26年3月31日雇児発0331第5号)別紙(ひとり親家庭への総合的な支援のための相談窓口の強化事業実施要綱)に基づく「就業支援専門員配置等事業」を行っている施設
  - ・就業支援専門員
- (28)「重症心身障害児(者)通園事業の実施について」(平成15年11月10日付け障発第1110001号)別紙(重症心身障害児(者)通園事業実施要綱)に基づく「重症心身障害児(者)通園事業」を行っている施設
  - ・児童指導員及び保育士
- (29)身体障害者社会参加支援施設の設備及び運営に関する基準第34条第1項第1号に規定する点字図書館及び同条第3号に規定する聴覚障害者情報提供施設
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (30)地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律(平成24年法律第51号)第2条による改正前の障害者総合支援法に規定する共同生活介護を行う施設
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (31)障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業のうち療養介護、短期入所、重度障害者等包括支援、共同生活援助を行う施設
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (32)整備法第5条による改正前の児童福祉法に規定する知的障害児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設及び肢体不自由児施設
  - ・児童指導員及び保育士
- (33)整備法第5条による改正前の児童福祉法に規定する重症心身障害児施設
  - ・児童指導員、保育士及び心理指導を担当する職員
- (34)障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係省令の整備等及び経過措置に関する省令(平成24年厚生労働省令第40号)第25条による廃止前の障害者自立支援法に基づく指定相談支援の事業の人員及び運営に関する基準(平成18年厚生労働省令第173号)第3条に規定する相談支援専門員
- (35)「「地域生活支援事業の実施について」の一部改正について」(平成26年3月31日付け障発0331第1号)による改正前の「地域生活支援事業の実施について」(平成18年8月1日付け障発第0801002号)別紙1(地域生活支援事業実施要綱)別記11(3)に基

- づく「身体障害者自立支援」を行っている施設
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (36)「地域生活支援事業の実施について」別紙1（地域生活支援事業実施要綱）別記11（4）に基づく「日中一時支援」、別紙1に基づく「障害者相談支援事業」又は別紙4に基づく「障害児等療育支援事業」を行っている施設
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (37)「精神障害者地域移行支援特別対策事業実施要綱の一部改正について」（平成22年3月30日付け障発第0330019号）による改正前の「精神障害者地域移行支援特別対策事業の実施について」（平成20年5月30日付け障発第0530001号）別紙（精神障害者地域移行支援特別対策事業実施要綱）に基づく「精神障害者地域移行支援特別対策事業」を行っている施設
  - ・地域体制整備コーディネーター及び地域移行推進員
- (38)「精神障害者地域移行支援特別対策事業の実施について」別紙（精神障害者地域移行・地域定着支援事業実施要綱）に基づく「精神障害者地域移行・地域定着支援事業」を行っている施設
  - ・地域体制整備コーディネーター及び地域移行推進員
- (39)「精神障害者アウトリーチ推進事業の実施について」（平成23年4月25日付け障発0425第4号）別添（精神障害者アウトリーチ推進事業実施要綱）に基づく「精神障害者アウトリーチ推進事業」を行っている施設
  - ・相談援助業務を行っている職員（医師、保健師、看護師、作業療法士その他医療法（昭和23年法律第205号）に規定する病院として必要な職員を除く。）
- (40)「精神障害者地域生活支援広域調整等事業について」（平成26年3月31日付け障発0331第2号）別添2（地域移行・地域生活支援事業実施要綱）に基づく「アウトリーチ事業」、「地域生活支援事業等の実施について」（平成18年8月1日付け障発第0801002号）別紙2（地域生活支援促進事業実施要綱）の別記2-21（精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業）に基づく「アウトリーチ支援に係る事業」を行っている施設
  - ・相談援助業務を行っている職員（医師、保健師、看護師、作業療法士その他医療法に規定する病院として必要な職員を除く。）
- (41)指定通所介護（指定居宅サービスに該当する介護保険法第8条第7項に規定する通所介護をいう。）、同法第42条第1項第2号に規定する基準該当居宅サービス（以下「基準該当居宅サービス」という。）に該当する同法第8条第7項に規定する通所介護、指定地域密着型通所介護（指定地域密着型サービスに該当する介護保険法第8条第17項に規定する地域密着型通所介護をいう。）、指定介護予防通所介護（指定介護予防サービスに該当する地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（平成26年法律第83号。以下「医療介護総合確保推進法」という。）第5条の規定による改正前の介護保険法（以下「旧介護保険法」という。）第8条の2第7項に規定する介護予防通所介護をいい、医療介護総合確保推進法附則第11条又は第14条第2項の規定によりなおその効力を有するものとされたものを含む。）若しくは介護保険法第54条第1項第2号に規定する基準該当介護予防サービス（以下「基準該当介護予防サービス」という。）に該当する旧介護保険法第8条の2第7項に規定する介護予防通所介護若しくは指定短期入所生活介護（指定居宅サービスに該当する介護保険法第8条第9項に規定する短期入所生活介護をいう。）、基準該当居宅サービスに該当する同法第8条第9項に規定する短期入所生活介護、指定介護予防短期入所生活介護（指定介護予防サービスに該当する同法第8条の2第7項に規定する介護予防短期入所生活介護をいう。）若しくは基準該当介護予防サービスに該当する同法第8条の2第7項に規定する介護予防短期入所生活介護又は第一号通所事業（介護保険法第115条の45第1項第1号ロに規定する第一号通所事業（介護保険法施行規則第140条の63の6第1号イ又はロに規定する基準に従って事業を実施するものであって、介護保険法第115条の45の3第1項の指定を受けたものに限る。）をいう。）を行う施設（老人デイサービスセンター及び老人短期入所施設を除く。）
  - ・生活相談員
- (42)指定通所リハビリテーション（指定居宅サービスに該当する介護保険法第8条第8項に規定する通所リハビリテーションをいう。）若しくは指定介護予防通所リハビリテーション（指定介護予防サービスに該当する同法第8条の2第6項に規定する介護予防通所リハビリテーションをいう。）又は指定短期入所療養介護（指定居宅サービスに該当する同法第8条第10項に規定する短期入所療養介護をいう。）若しくは指定介護予防短期入所療養介護（指定介護予防サービスに該当する同法第8条の2第8項に規定する介護予防短期入所療養介護をいう。）を行う施設
  - ・支援相談員
- (43)指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護（指定地域密着型サービスに該当する介護保険法第8条第15項に規定する定期巡回・随時対応型訪問介護看護をいう。）を行う施設
  - ・オペレーター
- (44)指定夜間対応型訪問介護（指定地域密着型サービスに該当する介護保険法第8条第16項に規定する夜間対応型訪問介護をいう。）を行う施設
  - ・オペレーションセンター従業者
- (45)指定認知症対応型通所介護（指定地域密着型サービスに該当する介護保険法第8条第18項に規定する認知症対応型通所介護をいう。）又は指定介護予防認知症対応型通所介護（同法第54条の2第1項に規定する指定地域密着型介護予防サービス（以下「指定地域密着型介護予防サービス」という。）に該当する同法第8条の2第15項に規定する介護予防認知症対応型通所介護をいう。）を行う施設（老人デイサービスセンターを除く。）
  - ・生活相談員
- (46)指定小規模多機能型居宅介護（指定地域密着型サービスに該当する介護保険法第8条第19項に規定する小規模多機能型居宅介護をいう。）若しくは指定介護予防小規模多機能型居宅介護（指定地域密着型介護予防サービスに該当する同法第8条の2第14項に規定する介護予防小規模多機能型居宅介護をいう。）、指定認知症対応型共同生活介護（指定地域密着型サービスに該当する同法第8条第20項に規定する認知症対応型共同生活介護をいう。）若しくは指定介護予防認知症対応型共同生活介護（指定地域密着型介護予防サービスに該当する同法第8条の2第15項に規定する介護予防認知症対応型共同生活介護をいう。）又は指定複合型サービス（指定地域密着型サービスに該当する同法第8条第23項に規定する複合型サービスをいう。）を行う施設
  - ・介護支援専門員
- (47)指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（指定地域密着型サービスに該当する介護保険法第8条第22項に規定する地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護をいう。）を行う施設

- ・生活相談員及び介護支援専門員
- (48)介護保険法第8条第24項に規定する居宅介護支援事業を行っている事業所
  - ・介護支援専門員
- (49)介護保険法第8条の2第16項に規定する介護予防支援事業を行っている事業所又は同法第115条の45第1項第1号ニに規定する第1号介護予防支援事業を行っている事業所
  - ・担当職員
- (50)「高齢者生活福祉センター運営事業の実施について」（平成12年9月27日付け老発第655号）別紙（生活支援ハウス（高齢者生活福祉センター）運営事業実施要綱）に基づく「生活支援ハウス（高齢者生活福祉センター）運営事業」を行っている生活支援ハウス
  - ・生活援助員
- (51)「地域支援事業の実施について」（平成18年6月9日付け老発第0609001号）に基づく「高齢者の安心な住まいの確保に資する事業」を行っている高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）、多くの高齢者が居住する集合住宅等
  - ・相談援助業務を行っている生活援助員
- (52)高齢者の居住の安定確保に関する法律（平成13年法律第26号）第5条第1項に規定するサービス付き高齢者向け住宅
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (53)「地域福祉センターの設置運営について」（平成6年6月23日付け社援地第74号）別紙（地域福祉センター設置運営要綱）に基づく地域福祉センター
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (54)「セーフティネット支援対策等事業の実施について」別添1（自立支援プログラム策定実施推進事業実施要領）3（1）に規定する就労支援事業を行っている事業所
  - ・就労支援員
- (55)「生活困窮者自立相談支援事業等の実施について」別添9（ひきこもり対策推進事業実施要領）に基づくひきこもり地域支援センター
  - ・ひきこもり支援コーディネーター、その他相談援助業務を行っている専任の職員
- (56)「生活困窮者自立相談支援事業等の実施について」別添21（地域生活定着促進事業実施要領）に基づく地域生活定着支援センター
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (57)「セーフティネット支援対策等事業の実施について」別添17（社会的包摂・「絆」再生事業実施要領）に基づくホームレス総合相談推進業務を行っている事業所
  - ・相談援助業務を行っている相談員
- (58)「セーフティネット支援対策等事業の実施について」別添17（社会的包摂・「絆」再生事業実施要領）に基づくホームレス自立支援センター
  - ・生活相談指導員
- (59)「被災者支援総合交付金（厚生労働省交付担当分）による被災者生活支援事業の実施について」（平成27年4月9日付け雇児発0409第10号・社援発第0409第2号）別添1（被災者見守り・相談支援事業（地方自治体等実施分）実施要領）、「被災者健康・生活支援総合交付金（厚生労働省交付担当分）による被災者支援事業の実施について」の一部改正について」（平成28年5月10日付け健発0510第9号・雇児発0510第2号・社援発第0510第6号・老発0510第1号）による改正前の「被災者健康・生活支援総合交付金（厚生労働省交付担当分）による被災者生活支援事業の実施について」別添1（地域コミュニティ活動を活用した被災者生活支援事業実施要領）、「セーフティネット支援対策等事業の実施について」別添17（社会的包摂・「絆」再生事業実施要領）第3の2又は「平成21年度介護基盤緊急整備等臨時特例交付金の運営について」（平成21年8月20日付け老発0820第5号）の別紙「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領」の別記1（地域支え合い体制づくり事業）に基づき、東日本大震災の被災者に対する相談援助業務を実施する事業所
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (60)「生活困窮者自立相談支援事業等の実施について」（平成29年5月17日社援発第0517号）による改正前の「生活困窮者自立相談支援事業等の実施について」別添11（地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり等事業実施要領）及び「生活困窮者自立相談支援事業等の実施について」別添13（熊本地震における被災者見守り・相談支援等事業実施要領）に基づき、熊本地震の被災者に対する相談援助業務を実施する事業所
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (61)「平成21年度緊急雇用創出事業臨時特例交付金（住まい対策拡充等支援事業）の運営について」（平成22年1月28日付け社援発0128第1号）別添1（自立相談支援モデル事業運営要領）に基づく自立相談支援機関及び同通知別添4（家計相談支援モデル事業運営要領）に規定する家計相談支援モデル事業を行っている事業所
  - ・主任相談支援員、相談支援員、就労支援員及び家計相談支援員
- (62)生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）第3条第2項に規定する生活困窮者自立相談支援事業を行っている自立相談支援機関及び同法第3条第5項に規定する生活困窮者家計改善支援事業を行っている事業所
  - ・主任相談支援員、相談支援員、就労支援員及び家計改善支援員（生活困窮者等の自立を促進するための生活困窮者自立支援法等の一部を改正する法律（平成30年法律第44号）第1条の規定による改正前の生活困窮者自立支援法第2条第6項に規定する生活困窮者家計相談支援事業に従事する家計相談支援員を含む）
- (63)生活保護法第55条の7第1項に規定する被保護者就労支援事業を行っている事業所
  - ・就労支援員
- (64)発達障害者支援法（平成16年法律第167号）第14条に規定する発達障害者支援センター
  - ・「発達障害者支援センター運営事業の実施について」（平成17年7月8日付け障発第0708004号）別紙（発達障害者支援センター運営事業実施要領）に規定する相談支援を担当する職員及び就労支援を担当する職員
- (65)障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）第19条第1項第2号に規定する広域障害者職業センター
  - ・障害者職業カウンセラー

- (66)障害者の雇用の促進等に関する法律第19条第1項第3号に規定する地域障害者職業センター
  - ・障害者職業カウンセラー及び職場適応援助者
- (67)障害者雇用納付金制度に基づく第1号職場適応援助者助成金受給資格認定法人
  - ・第1号職場適応援助者養成研修を修了した職員であって、ジョブコーチ支援を行っている者
- (68)障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律（平成20年法律第96号）第3条の規定による改正前の障害者の雇用の促進等に関する法律（以下「旧法」という。）第27条に規定する障害者雇用支援センター
  - ・旧法第28条第1号、第2号及び第7号に規定する業務を行う職員
- (69)雇用保険二事業助成金制度に基づく障害者雇用安定助成金（障害者職場適応援助コース）のうち、訪問型職場適応援助に係る受給資格認定法人
  - ・訪問型職場適応援助者養成研修を修了した職員であって、ジョブコーチ支援を行っている者
- (70)障害者の雇用の促進等に関する法律第27条に規定する障害者就業・生活支援センター
  - ・「障害者就業・生活支援センターの指定と運営等について」（平成14年5月7日付け職高発第0507004号、障発第0507003号）別紙2（障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）実施要綱）に規定する主任就業支援担当者及び就業支援担当者並びに同通知別紙3（障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）実施要綱）に規定する生活支援担当職員
- (71)職業安定法（昭和22年法律第141号）第8条に規定する公共職業安定所
  - ・精神障害者雇用トータルサポーター、発達障害者雇用トータルサポーター
- (72)「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱」（平成21年3月31日付け20文科生第8117号文部科学大臣決定）別記（スクールソーシャルワーカー活用事業実施要領）に基づく教育機関及び「教育支援体制整備事業費補助金（いじめ対策等総合推進事業）交付要綱」（平成25年4月1日付け文部科学大臣決定）別記（スクールソーシャルワーカー活用事業実施要領）に基づく教育機関
  - ・スクールソーシャルワーカー
- (73)難病の患者に対する医療等に関する法律（平成26年法律第50号）第29条に規定する難病相談支援センター
  - ・難病相談支援員
- (74)「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業の実施について」（平成19年5月25日付け障発0525001号）に基づく高次脳機能障害者の支援の拠点となる機関
  - ・支援コーディネーター
- (75)「市区町村子ども家庭総合支援拠点の設置運営等について」（平成29年3月31日付け雇児発0331第49号）別添（「市区町村子ども家庭総合支援拠点」設置運営要綱）に基づく子ども家庭総合支援拠点
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (76)「子育て世代包括支援センターの設置運営について」（平成29年3月31日付け雇児発0331第5号）に基づく子育て世代包括支援センター
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (77)厚生労働省が委託する地域若者サポートステーション事業により設置される地域若者サポートステーション
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (78)「子ども・若者支援地域協議会設置・運営指針」（平成22年2月23日付け内閣府政策統括官（共生社会政策担当）決定）に基づく子ども・若者総合相談センター
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (79)成年後見制度の利用の促進に関する法律（平成28年法律第29号）に基づき策定された成年後見制度利用促進基本計画における「権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり」において設置される中核機関
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (80)障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）に基づく基幹相談支援センター
  - ・相談援助業務を行っている職員
- (81)裁判所法に基づく家庭裁判所
  - ・家庭裁判所調査官
- (82)児童福祉法第19条の2に規定する小児慢性特定疾病児童等自立支援事業を行っている事業所
  - ・「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業実施要綱」（平成29年5月22日付け健発0522第1号）に規定する小児慢性特定疾病児童等自立支援員
- (83)医療的ケア児等総合支援事業の実施について（平成31年3月27日付け障発0327第19号）に基づく「医療的ケア児等とその家族への支援」を行っている事業所
  - ・医療的ケア児等コーディネーター
- (84)施行規則第2条第1号から第13号まで及び上記（1）から（83）までに定める施設以外の施設で福祉に関する相談援助を行う施設として厚生労働大臣が個別に認めた施設
  - ・当該施設において、福祉に関する相談援助業務を行っている相談員

### 3. 業務従事期間の計算方法

福祉に関する相談援助の業務に従事した期間は、上記1及び2に掲げる者として、当該施設又は事業所と雇用関係を有し常勤（労働時間が当該施設の常勤者のおおむね4分の3以上である者を含む。）に従事した期間を通算して計算するものとする。

### 4. 2（84）の厚生労働大臣の個別認定の取扱い要領

#### (1) 認定基準

ア 当該施設における業務として、各種の福祉に関する相談援助業務を行うことが、定款、実施要領等において明記されていること

。（福祉に関する相談援助とは認められないものの例）

医療相談、専ら職業紹介に関する相談を行うもの等

イ 上記1及び2の(1)から(83)までに定める職種と同等以上の福祉に関する相談援助業務を行っている相談員が配置されていること。

(2) 認定の手続

ア 社会福祉士養成施設等への入学又は入所に際して2(84)に係るものについては、社会福祉士養成施設等において取りまとめ、入学又は入所の決定前に別記様式により厚生労働大臣あて協議すること。

イ 社会福祉士及び介護福祉士法(昭和62年法律第30号)第7条第4号又は第7号に係る社会福祉士受験者については、同法第10条第1項に規定する指定試験機関が取りまとめ、受験票を受験生あて送付する前に別記様式により厚生労働大臣あて協議すること。